

案 件	名張市地域公共交通計画（素案）		
募集期間	令和4年11月17日～同年12月17日		
意見の件数 （意見提出者数）	31件（8人）		
意見の取扱い	修正	素案を修正するもの	10件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	9件
	参考	素案に盛り込めないが、今後の参考とするもの	10件
	その他	素案に反映できないが、意見として伺ったもの	2件

市民等の意見の概要	件数	意見に対する名張市の考え方
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(2) 人口動向</p> <p>表1「地域別人口密度及び高齢化率」と図6「人口分布」が対応していない。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>表1では市内の地域別の人口密度や高齢化率を表しており、図6では市内全域の人口分布及び公共交通のカバー状況を示しているため、性質が違うものと考えています。そのため、図6の説明を追記します。</p>
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(2) 人口動向</p> <p>【人口動向に関する課題】</p> <p>「集約連携型都市を目指す街づくり施策と連携した・・・」について、ここまでにこのような説明がなく唐突に感じる。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>集約連携型都市については、P23で詳細に述べているため、次のとおり修正します。</p> <p>【人口動向に関する課題】</p> <p>「人口変動傾向等の地域特性に対応した公共交通施策の充実」</p> <p>これに伴い、P46表17「項目別課題及び集約課題」の記載も修正します。</p>
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(2) 人口動向</p> <p>【人口動向に関する課題】</p> <p>「免許返納しやすい・・・」について、免許返納者は増加傾向にあるから早急な整備が必要だとも言えないか。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>免許を返納する前後で安心して利用できる公共交通環境を目指すため、次のとおり修正します。</p> <p>【人口動向に関する課題】</p> <p>「免許を返納しても安心して暮らせる安全で利用しやすい公共交通環境の整備」</p> <p>これに伴い、P46表17「項目</p>

		別課題及び集約課題」の記載も修正します。
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(3) 主要施設分布状況</p> <p>図8「主要施設分布」凡例について、「医療機関」ではなく「総合病院」、「消防署」については分署や出張所が反映されていない。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>図8及び図9凡例の「医療機関」を「病院」に修正します。</p> <p>「消防署」について、桔梗が丘分署、つつじが丘出張所を図に追記し、凡例を「消防署・分署・出張所」に修正します。</p>
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(3) 主要施設分布状況</p> <p>図8「主要施設分布」大規模商業施設について、未掲載の施設がある。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>図8及び図9凡例の記載を改め、2022年4月現在と追記します。</p>
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(3) 主要施設分布状況</p> <p>図9「公共交通路線網」について、路線が重なっている箇所は表示すべき。路線が全く分からない。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>図9の路線が重複しているところは並べて記載するよう修正します。</p>
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>1 地域特性の把握</p> <p>(4) 人口流動</p> <p>「また、従来の通勤・通学を目的とした・・・需要が高まっています。」について、通勤・通学を目的とした移動需要は高まっているか。また、高齢化によっても移動需要は高まっているか。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>次のとおり修正します。</p> <p>「・・・大阪市を含む近畿圏への通勤・通学は今後も一定数見込まれることから、通勤・通学を目的とした団地と駅を結ぶ路線を維持、確保する必要があります。また、高齢化の進展に伴い買い物や通院等で市内を循環する移動需要にも対応する必要があります。」</p> <p>【人口流動に関する課題】</p> <p>「高齢化の進展に伴う市内における移動需要への対応」</p> <p>これに伴い、P46表17「項目別</p>

		課題及び集約課題」の記載も修正します。
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>3 上位計画・関連計画の整理</p> <p>(4) 名張市都市総合交通戦略</p> <p>表12「基本目標及び行動計画まとめ」の「自転車、歩行者計画」について、自転車専用道路の整備と主要駅に駐輪場を希望する。</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>自転車専用道路については、道路整備や都市計画、交通安全、観光振興等と深く関わるため、「公共交通」の枠組みに留まりません。そのため、本計画では述べていませんが、各方面にわたり、連携した取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、主要駅の駐輪場について、乗継拠点となる主要駅の駐輪場は乗継環境の整備に関わるため、計画の中でも検討していきます。</p>
<p>第2章 名張市の地域概況の整理</p> <p>公共交通の利用者が漸減している現状を踏まえ、近畿日本鉄道や三重交通はダイヤ改正時に運行本数を減らすなどの措置を取っており、次第に利便性が失われつつある。</p> <p>名張市においては、車がないと日々の生活が大きく制限され、車は一人一台の時代となっている。</p> <p>そんな中、名張市が運営する又は地域に運営委託するコミュニティバスは決して利便性に優れているとは言い難い状況である。</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>全国的にもモータリゼーションの進展や人口減少、新型コロナウイルス感染症の影響等で公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあります。また、市内の各地域が持つ特性が異なることから、それぞれの実情に応じた交通手段の展開や、鉄道・バス・タクシーの交通モード間での更なる連携強化の必要性が高まっています。これらを踏まえ、本市が目指す「交通まちづくり」をより一層推し進めるため、今回いただいたご意見も踏まえながら本計画を策定します。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標</p> <p>3 めざす姿</p> <p>(1) 名張市の交通将来像</p> <p>「ベスト・ミクスト・ネットワーク」の説明について、自転車や歩行者、自家用車の活用についてはこの</p>	1件	<p>【既記載】</p> <p>上位計画の名張市総合都市交通マスタープランにおいては、「ベスト・ミクスト・ネットワーク」の構築に向け、交通まちづくり全体の方針について述べられています。本計画においては、それを踏まえた上で公共交通を軸に据え、計画を推進す</p>

<p>後に何も記載されていない。</p>		<p>ることとしており、多様な移動手段の活用については、P 6 1 事業9 「公共交通の利用を誘導する事業」の中で、モビリティ・マネジメント事業の推進により、公共交通、自転車、徒歩等を賢く組み合わせ、過度に自家用車に頼らないライフスタイルへの変容を促します。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標 5 基本方針の具体的展開 具体的展開とは言いながら、全体的に具体性を欠いた抽象的な内容となっている。具体的にどのような施策・方策が実施されるのか。</p>	<p>1 件</p>	<p>【既記載】 本記載は基本方針の具体的展開の方向性を示しており、より具体的な施策や実施主体はP 5 6 「第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法」以降に記載していません。見出しを「基本方針の具体的展開の方向性」とします。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標 5 基本方針の具体的展開 基本方針1「サービス水準を維持します。」を「サービス水準を向上します。」に変更してはどうか。現状維持では長期計画とは言えない。</p>	<p>1 件</p>	<p>【その他】 近年の公共交通利用は減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、更に利用が落ち込んでいる中でも水準を維持し、持続可能な公共交通サービスとするため、利用の促進や連携を強化していきます。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標 5 基本方針の具体的展開 基本方針1「連携した公共交通ネットワークの充実を図ります。」 現在、そのようなネットワークと言えるものは存在しない。どのような方法で充実を図るのか。</p>	<p>1 件</p>	<p>【その他】 本計画では、鉄道、路線バス、タクシー、地域コミュニティ交通が一体となり役割分担、連携をしながら効率的・効果的に運行する交通網を目指し、それぞれの移動モードごとに検討するのではなく、ネットワークとして組み合わせ、円滑に連携していくことで持続可能な公共交通ネットワークの充実を図ります。</p>
<p>第6章 持続可能な公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標 5 基本方針の具体的展開</p>	<p>1 件</p>	<p>【既記載】 本計画は「名張市地域公共交通網形成計画」を引き継ぐ計画として策</p>

<p>基本方針2「集約拠点として位置付けられる交通結節点」</p> <p>交通結節点とはどこを指すのか。これから作るのか。公共交通を利用している高齢者は乗り継ぎを嫌う。</p>		<p>定しており、前計画において、交通結節点を名張駅、桔梗が丘駅として位置付けていることから、本計画においても同様に、名張駅及び桔梗が丘駅を交通結節点として位置付けています。</p> <p>また、結節点において乗り継ぎがスムーズになるよう検討を続けていくとともに、待合環境の向上に努めます。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標</p> <p>5 基本方針の具体的展開</p> <p>基本方針2「閉じこもりを防ぎ、外出機会を失わないための施策」</p> <p>具体的にどのような方法・施策か。</p>	1件	<p>【既記載】</p> <p>事業7「安心・安全な公共交通利用に向けた取組、」事業9「公共交通の利用を誘導する事業」、事業11「バスへの愛着（マイバス意識）を高める事業」に記載しているように、免許返納割引等の実施及び周知や、健康増進の取組とタイアップし、外出したくなるような取組を検討します。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標</p> <p>5 基本方針の具体的展開</p> <p>基本方針3「公共交通を支え続けていくための取組を推進」</p> <p>具体的にどのような取組か。</p>	1件	<p>【既記載】</p> <p>事業11「バスへの愛着（マイバス意識）を高める事業」等の中で公共交通が市民の日常生活に馴染み、誰もが公共交通を利用できるよう、公共交通への愛着を高めるイベントの実施等を行う予定です。</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標</p> <p>5 基本方針の具体的展開</p> <p>基本方針3「商業・観光振興、～地域公共交通の利用者を促進する施策」</p> <p>利用者の者は不要。</p>	1件	<p>【修正】</p> <p>次のとおり修正します。</p> <p>「・・・利用を促進する施策・・・」</p>
<p>第6章 持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本的な方針と目標</p> <p>6 目標指標の設定</p> <p>市の方針としてコンパクトシテ</p>	1件	<p>【参考】</p> <p>現在、策定中の立地適正化計画では、集約連携型都市を目指すこととしており、駅や市役所など都市の中</p>

<p>イを目指すのであれば、公共施設をなるべく鴻之台周辺へ集めるとともに、市内各所から街の中心となる市役所への公共交通の更なる充実が必要不可欠である。休日のナッキー号の運行も検討すべき。</p>		<p>心部と各拠点を結ぶ公共交通の役割は必要不可欠なものと認識しています。また、休日の公共交通の在り方についてもモータリゼーションの変容に合わせ対応が必要です。</p> <p>今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法 2 事業内容・事業主体 事業2「広域準幹線（路線バス）の継続運行」 中部運輸局二次評価結果（R4.3.10付け）の「期待する取組」にて、「・市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有すると共に、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。」とあるので、この項目に上記のような取組を追加記載してはどうか。</p>	<p>1件</p>	<p>【修正】 次の文言を追記します。</p> <p>「また、輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有するとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施します。」</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法 2 事業内容・事業主体 事業6「利用環境の整備①乗継拠点の充実」 埼玉県ときがわ町のハブ&スポーク事例の様なものが名張市に出来れば最高であるが、何処に作るのか。施設の美化では、園芸福祉ボラ</p>	<p>1件</p>	<p>【既記載】 先行事例では重複路線やダイヤの接続が悪い等の課題を、拠点を設けハブ&スポーク方式で効率的に運行しているというものです。本計画においては交通結節点において乗り入れる便の効率化等の参考にしたいと考えています。</p> <p>P62事業11「バスへの愛着</p>

<p>ンティアの会が名張駅前と桔梗が丘駅前の花壇を通年で無償整備している。</p> <p>【事業主体】欄の（市民・地域）に○を入れてほしい。</p>		<p>（マイバス意識）を高める事業」②地域住民による各種活動の実施に当たり、事業主体に市民・地域を含めています。</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業6「利用環境の整備①乗継拠点の充実」</p> <p>桔梗が丘駅前の商業施設が閉店した影響で乗り継ぎ待ちの際のトイレがなくて困っている。お年寄りにとって特にトイレは必要である。</p>	<p>1件</p>	<p>【参考】</p> <p>桔梗が丘駅は交通結節点でもあり、待合場所のトイレは乗り継ぎ環境改善の課題として受け止めております。今回いただいたご意見は、関係部署・団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業7安心・安全な公共交通利用に向けた取組①免許返納者に対する施策」</p> <p>三重県の免許返納者への優遇措置は種々あり、名張市も独自の優遇措置を考慮して、キャンペーンをやってみてはどうか。</p>	<p>1件</p>	<p>【参考】</p> <p>今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業7「安心・安全な公共交通利用に向けた取組②地域住民による各種活動の実施」</p> <p>バスの乗り方教室の開催に加えて、コミュニティバスを利用したハイキング、食事会、写真撮影会などを開催するのはどうか。名張市には高齢者でも行けるハイキングコースが多々ある。例えば、赤目滝、斎王の道、旧町散策、初瀬街道、お地藏さんの散歩道など。</p>	<p>1件</p>	<p>【参考】</p> <p>今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>

<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業9「公共交通の利用を誘導する事業②モビリティ・マネジメントの実施」</p> <p>モビリティ・マネジメント(MM)の定義は「ひとり一人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。」モビリティ・マネジメント(MM)の分類は、「場」で分ける場合、ある地域に居住する住民が対象の①居住者MM、事業所の組織と従業員が対象の②職場MM、学校教育において児童生徒や教職員を対象とした③学校MM、④特定路線沿線関係者を対象としたMM、⑤マスメディアを用いた広報活動など5種類に分類できる。コミュニティバスの運営に当たっては、このモビリティ・マネジメント理論をバックボーンとして運営するのが最適である。</p> <p>夏休み乗車キャンペーン等として、目的地のスーパーマーケットなどと提携したクーポン券を配布してはどうか。魅力ある目的地に向かうバスには多くの人に乗車するし、目的地のないバスには誰も乗らない。また、子ども達に「可愛いストラップ」を進呈するなどの工夫をしてはどうか。</p> <p>【事業主体】欄の(市民・地域)に○を入れてほしい。</p>	<p>1件</p>	<p>【既記載】</p> <p>P62事業11「バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業」②地域住民による各種活動の実施・地域主体のコミバス等独自の利用促進に関する取組(ツアーや乗り方教室)の事業主体に市民・地域を含めています。</p> <p>また、今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
---	-----------	---

<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業10「観光振興のための公共交通利用促進策の実施」</p> <p>市内の観光施設を公共交通で巡るツアーの開催、公共交通のバスなどは道路運送法の縛りがあるため、ツアーの開催は困難かもしれない。タクシーならばできるが高額となる。相乗りタクシーを奨励してはどうか。</p>	<p>1 件</p>	<p>【参考】</p> <p>今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業13「持続可能な公共交通の維持に向けた仕組みづくり」</p> <p>「地域コミュニティ交通推進方針を見直し、現在及び将来の交通体系に即した地域交通の確保の考え方について整理」</p> <p>近い将来に実施できるであろう「自動運転」を見据えて、インフラ整備のための道路環境の調査・研究について提案する。</p>	<p>1 件</p>	<p>【既記載】</p> <p>P63事業14「交通事業者等と連携した新たな移動手段の導入」にて様々な移動モードの検討を行う予定です。</p>
<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>2 事業内容・事業主体</p> <p>事業14「交通事業者等と連携した新たな移動手段の導入」</p> <p>石川県輪島市、沖縄県北谷町、福井県永平寺町、茨城県日立市などの自動運転先進地の実証実験を調査・研究をする必要がある。その他各地で実証実験がされる時代である。茨城県猿島郡境町では11人乗りバスで昨年から自動運転を実施している。名張市においても、自動運転に向けた取組をするべき。</p>	<p>1 件</p>	<p>【参考】</p> <p>今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>

<p>第7章 目標を達成するための実施事業及び評価方法</p> <p>5 計画に係る基準値と評価を行う時期</p> <p>(2) 評価を行う時期</p> <p>「②計画全体の評価」<評価の方法></p> <p>P 6 6 「基本方針1」「利用者数」は令和10年度中に評価することになっている。利用者数は標準指標にもなっており、毎年度評価してはどうか。</p>	1 件	<p>【修正】</p> <p>年間利用者数については、毎年度公共交通会議にて提示する予定ですので、「基本方針1の目標指標」をP 6 7①毎年度の評価に追加し修正します。</p>
<p>【コミュニティバス運営上の提案】</p> <p>現在、名張市地域コミュニティ交通運営事業費補助金交付要綱では、補助対象運行協議会は、対象地域ごとであるため、実質的に複数地域での共同運行ができない状況にある。共同運行を望む声があり、この規定を改定するか、又は運用を柔軟にしてほしい。</p>	1 件	<p>【既記載】</p> <p>P 6 3 事業1 3 「持続可能な公共交通の維持に向けた仕組みづくり」の中で、多様な交通ニーズに対応するための補助制度の見直しとして記載しています。</p>
<p>不便な交通網が長期にわたり改善しなかった理由をまず検証すべきではないか。</p> <p>市議会議員や市役所の職員は現在ほとんどの人が通勤に自家用車か公用車を使用して出勤されているから交通の不便さが分かっていない。通勤に1か月、市議会議員や市役所の職員は電車、バス等公共交通を利用して体験すべき。</p> <p>高齢者に免許返却奨励されて高齢者の交通事故減少対策は理解できるが今の公共交通を利用して例えば桔梗が丘5番町山之手西のバス停から乗車して市役所へ到達する所要時間を実体験すべき。</p> <p>また、近鉄電車の乗降時間とバスの乗降時間間隔はせめて10分前</p>	1 件	<p>【参考】</p> <p>平成28年度に策定した「名張市地域公共交通網形成計画」の中で公共交通ネットワークの形成や交通結節機能の強化等の取組を行ってまいりました。今回策定する計画では、前計画の目標の達成状況やそこから見えた課題の抽出を行い、方針や事業を検討しています。</p> <p>また、市職員等に向けた定期的な自家用車以外での通勤を促す取組については、二酸化炭素排出削減の観点からエコ通勤の取組を実施しており、その際に公共交通を利用した通勤を呼び掛けております。</p> <p>今回いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで</p>

<p>後で乗降できるダイヤになるように三重交通、近鉄、市役所の3社で協議し早急に市民の足になるようにしてほしい。</p>		<p>未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、運行時間や乗り継ぎに関しても関係団体と連携しながら利便性の向上に当たり検討を進めてまいります。</p>
<p>【観光バス路線の提案】</p> <p>名張市の主な観光地は赤目四十八滝のほか、青蓮寺湖、香落溪、東には美旗の古墳群が存在し、美旗メロン等がある。</p> <p>観光客を呼び起こすとともに地域の観光客を掘り起こすことも大切な課題である。</p> <p>近鉄美旗駅から近鉄赤目駅までの観光バス路線の幹線を整備確立することで名張市の観光産業に大きな影響力を持たせることができる。</p> <p>すでに存在する曾爾香落溪の路線を有効活用し、赤目から美旗路線とアクセスすることで名張の観光産業に大きな影響を持たせる観光バス路線網を形成できる。また、観光幹線バス路線網と生活路線のアクセスで、生活路線との接続や乗り継ぎがスムーズとなる。</p> <p>三重交通の団地線観光路線にアクセスできるため、東西の交通の利便性が高まり、ナッキー号の路線網を合体させれば若者から高齢者の生活バス路線ができ、名張市の活性化につながる。</p>	<p>1 件</p>	<p>【参考】</p> <p>名張市の路線バスは、主に団地から駅へのアクセス、隣接市町とのアクセスの確保を中心に運行されています。また、その他にコミュニティバスとして中心市街地の公共施設や買い物・病院を巡回する市街地循環「ナッキー号」や、地域の特性に応じた地域交通が運行されています。</p> <p>観光客の呼び起こしについては、公共交通の新規利用者獲得のためP61事業10「観光振興のための公共交通利用促進策の実施」で記載しているように様々な取組を実施する予定です。</p> <p>また、今回ご提案いただいた美旗駅から赤目口駅を国道165号線で結ぶ路線は、市を縦断する案となっておりますが、観光振興に寄与するものですが、国道165号線沿いは交通量が多く、バスの停車が困難であるなど課題も多い状況です。</p> <p>公共交通を活用した観光振興については、現状のルートを基本としますが、いただいたご意見は、名張市の公共交通の目指す姿である「ひとが交わり、こころが通う、みんなで未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」の実現に向け、関係団体と連携しながら事業を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>